

総務常任委員会資料
2023年(令和5年)3月7日
政策局シティセールス推進室本のまち推進課

「本のまち明石」のさらなる推進に向けた取組について

これまで本市では、「いつでも、どこでも、だれでも、手を伸ばせば本に届くまち」を目指して、障害の有無や年齢等に関わらず、だれもが読書を諦めず、本に親しみ、楽しむことができる「本のまち明石」の推進に向けた各種取組を行ってきました。

今後は、これまでの読書バリアフリーに向けたソフト面での取組を継続するとともに、新たに整備が予定されている複合施設などへの図書館設置のハード面での取組も併せて、ソフト・ハード両面から「本のまち明石」のさらなる推進に向けて取り組めます。

1 5図書館プロジェクトの推進

現在、本市には図書館が2館設置されていますが、全国に62ある中核市の図書館設置数の平均は約5.4館となっており、本市の2館を大きく上回っている状況にあります。

また、2019年度(令和元年度)に実施した「本のまちアンケート」では、約3割の市民の方が図書館を「あまり利用していない」と回答され、その理由として、「図書館が近くにない」が約5割、「時間が合わない」が約2割となっており、もっと身近な場所に図書館があれば利用される状況にあるとの結果が出ていました。

これらのことから、「本のまち明石」を推進する本市として、中核市における平均設置数である5館を目指して、市内5地区(明石、西明石、大久保、魚住、二見)に図書館を整備する「5図書館プロジェクト」を掲げ、未整備の3地区への整備に向けた取組を進めています。

(1) 西明石地区

サンライフ明石のリニューアルに向けて、図書館を併設した地域交流拠点となるよう、基本計画を策定し、設計業務に着手します。

(2) 大久保地区

JR大久保駅南ロータリー部分への図書館を核とした複合施設の設置に向けて、基本計画を策定し、設計業務に着手します。

(3) 二見地区

図書館整備に向けて、規模や設置場所の具体的な検討を進めます。

2 読書バリアフリーに向けた取組

(1) これまでの主な取組内容

年 度	取組内容
2019 年度 (令和元年度) まで	①身体障害者、65歳以上の来館困難者への図書無料宅配の実施 ②電子図書館サービスの開始 ③あかし市民図書館に拡大読書器、音声読み上げ機を設置 ④視覚障害者への図書無料郵送の実施 ⑤移動図書館2台の運行 ⑥あかし市民図書館での対面朗読の実施 ⑦あかし市民図書館にユニバーサル・ルームの設置
2020 年度 (令和2年度)	①西部図書館に拡大読書器、音声読み上げ機を設置 ②西部図書館のサイン表示の更新(点字付き館内案内板や児童書エリア等の側板にピクトサインを設置、本を探しやすくした)
2021 年度 (令和3年度)	①西部図書館での対面朗読の実施 ②市立図書館、障害福祉課、明石市障害当事者等団体連絡協議会(A S K)の窓口で音声版図書館利用案内を配布
2022 年度 (令和4年度)	①音声読み上げアプリ(Your Eyes)のアカウント貸出 ②西部図書館にユニバーサルエリアの設置

(2) 令和5年度に予定している取組内容

無料郵送サービスの拡充

これまでの図書の無料郵送サービスと無料宅配サービスを「無料郵送サービス」に統一するとともに、新たに妊婦等を対象者に加えてサービス内容の充実を図ります。

3 まちなかブックスポットのさらなる拡大

令和4年度に実施した「ブックスポット事業」を継続し、まちなかにあるブックスポットの新規設置への支援や既存施設の運営の充実を図るための取組みなどを行います。